

令和3年度 セーフティ教室 指導略案 1年1・2・3・4・5組

日 時 令和3年6月12(土) 3校時

児童数 1組29名 2組29名 3組29名 4組29名 5組29名

指導者 1年1組 担任 北村 次郎

2組 担任 市川 敦也

3組 担任 金丸 百合野

4組 担任 五十嵐 真澄

5組 担任 高橋 美紗

1 活動名 「こんなときどうする？」—知らない人に声を掛けられたとき—

2 ねらい 知らない人から声を掛けられたときの対処の仕方を知る。

3 展開

学習過程	学習活動	指導上の留意点
導入	1 知らない人から声を掛けられた経験があるか、振り返る。	・不審者による危険が身に迫ってきたときに、落ち着いて対処できるようにする学習であることを知らせる。
展開	2 紙芝居「ひやっと3人組」を読む。 3 公園で遊んでいるとき、知らない人に声を掛けられた場合、どうしたらよいか話し合う。 ・いい人そうだったら、ついて行く。 ・ちょっと離れる。 ・こわそうだったら逃げる。 ・はっきり断る ・車には乗らない。 4 被害を受けそうになったとき、自分の身を守る方法を実践する。 ・つかまれそうになったらすぐ逃げる。 ・大声を出す。	・誘拐に関する紙芝居を大型テレビに映して読む。 ・道を聞かれたり、誘われたりしたとき、自分だったらどうするか考えさせる。 ・見た目だけで判断させない。にこにこしていても安心できないことをおさえる。(ついて行かない、名前を教えない等。) ・教員が不審者の役割をし、児童には手をつかまれそうになったり、無理やり連れて行かれそうになったりしたときの対処の仕方をロールプレイさせる。
まとめ	5 これからの生活の中で、知らない人に声を掛けられたり、誘われたりしたときの対処の仕方をまとめる。 ・合言葉「いかのおすし」を確認する。	・【合言葉】で対処法を確認させる。 いか…ついて行かない の…車に乗らない お…大声を出す す…すぐに逃げる し…大人に知らせる